

車両の速度超過抑制

オリコンサル、佐賀で
交通安全対策実証実験

オリエンタルコンサルタ
ントは佐賀県江北町と共同
で、横断歩道の交通安全対
策を目的とした実証実験を
行う。AIカメラとLED

電光掲示板を組み合わせ、速度超過した車両に対して警告することによる速度抑制の効果を検証する。同町内では車両の速度抑制などを目的とした「スムーズ横断歩道」の設置を予定しており、さらなる交通安全対策として実証実験を行う。

実証実験は29日～12月6日。対象地区は警察庁と道路管理者が連携し最高時速30^キに規制する生活道路「ゾーン30プラス」。車道沿いに設置したAIカメラで車両の速度を判別し、速度超過車両に対して路側のLED電光掲示板で警告する実験を行う。

ゾーン30プラスでは、ス

ムーズ横断歩道などの組み合わせにより交通安全の向上を目指す。スムーズ横断歩道は、横断歩道の路面を盛り上げることで歩道と同じ高さにする。横断歩道手前の車道は傾斜部となっている。横断歩道が車道よりもやや高い位置に来ることとで、子どもなどが横断する際に運転者が検知しやすくなる。さらに傾斜部が横断歩道の手前で速度抑制の役割を果たし、横断歩道の安全性を高める。

同町はゾーン30プラスの登録に向けて、江北小学校前に仮設スムーズ横断歩道を設置する実験を行っている。